

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	昭和48年度		
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	03 障害者(児)福祉
事務事業名	03	災害見舞金給付事業	
根拠法令・例規等	備前市災害見舞金等支給要綱		
問	担当課(室)	社会福祉課	
合	職・氏名	障害者福祉係長・大道健一	
先	電話	64-1824	
このシート作成に要した時間			2.5 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	災害被災市民
目的(何のために)	被害を受けた者の援護と奮起を促すことを目的とする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	被害を受けた者が、少しでも早く被災前の生活に戻れるようにしたい。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	災害見舞金給付事業	水・火災等の被害者に見舞金を、又死亡者には弔慰金を給付する。(上限10万円)	
	地方債管理事業	平成16年台風16号災害に係る災害援護資金の償還。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		373	511	536	
	必要人員(人件費)	千円	0.01人	100	0.01人	99
	事業費計		473	610	998	
	国県支出金			7	6	
	受益者負担			20	11	
	繰入金	千円				
	その他( )					
	一般財源		473	583	981	
	受益者負担比率	%	-	3.3%	1.1%	
	結果指標名	単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
災害見舞金等支給件数	説明	災害見舞金、弔慰金及び障害見舞金を支給した件数				
結果指標量	事業	3	5	3		
対前年比	%	-	166.7%	60.0%		
活動コスト		220,000	343,000	723,000		
単位当たりコスト	円	73,333	68,600	241,000		

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
災害見舞金支給件数	目標値(A)	0	0	0	0
	実績値(B)	3	5	3	到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

成果指標設定の考え方・式や説明  
 ・災害見舞金、弔慰金及び障害見舞金を支給した件数  
 ・災害の規模や発生件数を見込むのは不適当であるので、目標値は0とする

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> B
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E> B

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	昨年同様に事業を実施。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
見舞金の金額は少額であるが、被害を受けた者の援護と奮起を促し少しでも早く通常の生活に戻るために役立っていると思慮する。	評価区分 <A~E>	B

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	現状維持とするが、被災者の区分(独居、過失、相続者の市内外在住)等により今後見舞金の支給基準及び額を見直しをする必要がある。					